

2007年5月15日

農政ジャーナリストの会

会長 合瀬宏毅

第51回国際農業ジャーナリスト連盟（IFAJ）世界大会を日本で開催

世界29か国の農業ジャーナリストが加盟する国際農業ジャーナリスト連盟（IFAJ、デービッド・マーキー会長）の第51回世界大会が日本で開催されます。主催者の農政ジャーナリストの会（JAJA、合瀬宏毅会長）は5月15日、大会実行委員会を開き、企画内容の概要を決定しました。半世紀を超えるIFAJの歴史の中で、アジアで世界大会が開かれるのは初めてのことです。9月17～23日の1週間、世界中から150人を超える海外の記者が日本の農村などを訪れます。

テーマは「Explore The Land of MIZUHO（瑞穂の国を探検しよう）」。米を中心とする日本の農業を知ってもらうため、東北地方の稲作農家や和牛の生産現場を取材するほか、18日には農林水産大臣の記者会見も予定されています。大会にはEU（欧州連合）の農業委員を務めたフランス・フィシュラー氏も来日する予定となっています。

農政ジャーナリストの会は1956年に設立。農業関係の報道に携わる記者などが会員となり、会費で運営されています。国内外の農業情勢を学ぶことを目的として、定期的な研究会を開くとともに、刊行物『日本農業の動き』を発行しています。

【問い合わせ先】

農政ジャーナリストの会

大会実行委員会事務局長 山田優

東京都千代田区大手町1-8-3 JAビル8階

TEL & FAX 03-3245-7636

JAJA ホームページ jaja.cside.ne.jp

IFAJ ホームページ www.ifaj.org

第 51 回国際農業ジャーナリスト連盟（IFAJ）世界大会 （通称：2007 年日本大会）



IFAJ World Congress
JAPAN 2007

主 催 農政ジャーナリストの会
特別協力 東京農業大学、宮城県
後 援 農林水産省、外務省、環境省、国土交通省、
仙台市、日本新聞協会 等（予定含む）

日本大会実行委員

実行委員長 今村奈良臣（東京大学名誉教授）
大澤貫寿（東京農業大学学長）
小島正興（農林中央金庫監事）
高木勇樹（農林漁業金融公庫総裁）
浜美枝（農政ジャーナリスト、女優）
原剛（早稲田大学教授）

大会目的

水田を中心としたアジアの農業は、畑作を中心とした欧米の農業とは大きく異なります。豊富な水に恵まれ、自然と共生する日本の農業の姿を世界の多くの人たちに知ってもらうには、農業や食のことを知り尽くしているジャーナリストたちに、生の日本を取材してもらうことが一番です。また、和食が世界の注目を集めている一方で、食料輸入大国・日本に対する関心も高まっています。農政ジャーナリストの会は、海外から 150 人以上のジャーナリストを招き、2007 年秋にアジアで初めてとなる国際農業ジャーナリスト連盟世界大会を日本で開きます。欧米とアジアとの違い・共通点についての認識を深め、同時に各国にとっての農業のあるべき姿とその実現のために何をなすべきかを、地球的規模で考え、討論し、世界に発信することを目指します。

大会日程

- 9/17 (月) 受付
9/18 (火) 食肉市場や青果センターなど都内取材、セミナー、農林水産大臣記者会見、IFAJ 総会
9/19 (水) 農水省やJAとの情報交換、→ 東北取材 (宮城県古川農業試験場)
9/20 (木) 稲作農家や和牛産地など東北取材、現地宿泊体験
9/21 (金) 稲作農家や和牛産地など東北取材
9/22 (土) 国際シンポジウム
9/23 (日) 解散

国際シンポジウム

22 日午後に仙台市内で 300 人規模の国際シンポジウムを開きます。テーマは、21 世紀の農業に求められる環境との調和。日本やアジアの農業はどのようにして貢献できるのか、世界の農業とどのように調和を図るのかを国際的な視点から考えます。

IFAJについて

国際農業ジャーナリスト連盟 (IFAJ) は、世界の農業や畜産、食品を担当する新聞や雑誌、放送ジャーナリストを中心に約 5000 人で構成されています。会員の 7 割を欧州の組織が占め、大半の先進国にネットワークを張り巡らせています。現在の会長は、アイルランドの大手出版社社長、副会長は全米最大の農業メディアの編集長が務めています。50 年前から毎年、加盟国を持ち回りで大会を開いてきました。大会は、テーマ別に分かれた共同取材が中心で、参加者の多くは滞在中、または帰国後に多くの記事や番組を制作します。優れた記事や写真を対象にスタープライズ (優秀賞) を授与するほか、発展途上国の農業ジャーナリストへの支援活動を行っています。

【最近の大会】

2000 年	オーストラリア
2001 年	フィンランド
2002 年	スペイン
2003 年	オランダ
2004 年	南アフリカ
2005 年	スイス
2006 年	ノルウェー
<u>2007 年</u>	<u>日本</u>
2008 年	オーストリア、スロベニア
2009 年	米国
2010 年	ベルギー